

農商工連携セミナー

地産地消、地域ブランドの振興等、地域産業の活性化の高まりがある中で、企業が発展的に事業展開する上で農商工連携は重要な一つの施策として捉えられています。また、企業の連携体に学・官の技術的支援が加わり、新商品・新技術の開発、新規分野へ参入するなど産学官連携の一つの形態としても重要性が高まっています。

今セミナーでは、農商工連携への理解を深め今後の企業経営に役立てるため、事業計画を進める中で多く発生する課題、その攻略方法等について考察するほか、県内の先進事例、支援制度について紹介いたします。

～農商工連携の成功のヒントを探る～

参加
無料

1. とき 平成24年9月6日(木) 14時～16時20分
2. ところ 富山流通会館 中ホール (無料駐車場有)
(富山市問屋町1-3-18 電話:076-451-9201)

I 講演

「経営の向上を目指す農商工連携 ～中小企業者の経営向上とは?～」 (14時～15時)

講師 布目 大剛 氏 (中小企業診断士・(独)中小企業基盤整備機構アドバイザー)

II 事例紹介

「氷見の海からできたワイン生産及び関連商品開発・販売」 (15時10分～16時)

講師 飯田 健児 氏 (㈱T-MARKS 取締役・企画営業部マネージャー)
布目 大剛 氏 (中小企業診断士・(独)中小企業基盤整備機構アドバイザー)



<計画概要>

(株)釣屋魚問屋、(株)T-MARKS、(有)日の出大敷、(有)シーフード北陸が連携し平成20年9月、農商工連携事業計画について国の認定を受ける。

これまで廃棄していた雑魚を魚粉化し、肥料としたもので果樹の生産を行う。その果樹でワインを製造し、ワインに合った新商品(魚料理)も開発する。

定置網漁業を行っている(有)日の出大敷が雑魚を提供、(株)釣屋魚問屋がその雑魚を使用し肥料用の魚粉とワインに合った魚料理を提供、(株)T-MARKSは魚粉肥料を活用してぶどう栽培とワイン製造を行い、販売は大手デパートに販売チャンネルを持つ(有)シーフード北陸と連携する。

III 施策紹介

富山県の農商工連携支援制度の概要 (16時～16時20分)

富山県商工労働部経営支援課 より

4. 定員 50名
5. お申込み・お問い合わせ
裏面の受講申込書に必要事項をご記入の上、FAXにて送信ください。

アクセスマップ

JR富山駅より 車で15分

富山地方鉄道東新庄駅より 徒歩10分

北陸自動車道富山ICより 車で25分

富山空港より 車で30分



お問い合わせ・お申込み先
 富山県中小企業団体中央会 調査連携推進グループ
 TEL:076-424-3686

下記に必要事項をご記入の上FAXにてお申し込みください。

FAX 076-422-0835

受講申込書

貴社名・団体名		
住所	〒 —	
電話番号		
Eメール		
参加者		
所属・役職	氏名	

※いただいた個人情報は、本セミナーに関わる連絡及び開催者からの施策の紹介等のご案内に使用させていただきます。